



松前町学校給食センター

今月の給食目標
1年間の食生活をふいかえろう

1年間、ありがとうございました

コロナ禍ということで「前向き」「黙食」での給食時間でしたが、ルールを守り、給食を残さずよく食べていました。きっと、この1年間で心も体も大きく成長したと思います。

この1年のまとめとして、給食時間や日頃の食生活を振り返ってみましょう。



<p>給食時間を振り返って</p> <p>自分に必要な量を考えて食べることができた</p> <p>少なめ ふつう 大盛り</p>	<p>給食当番の仕事をきちんとできた</p> <p>感謝の気持ちをもって、なるべく残さず食べることができた</p> <p>感謝</p>	<p>前を向いて静かに食べた</p> <p>時間内に食べ終わることができた</p> <p>ごちそうさまでした</p>
<p>食生活を振り返って</p> <p>よくかんで食べることができた</p>	<p>朝ごはんを毎日食べた</p> <p>脂肪分や塩分のとり過ぎに気がつけた</p> <p>とり過ぎ注意!</p> <p>塩</p>	<p>おやつは時間と量を決めて食べた</p> <p>行事食や郷土料理に興味を持つことができた</p>

○…10点、△…5点、×…0点として、採点してみよう!

/100点

何点でしたか? できなかった項目は、これから意識して取り組んでみてください。

3月9日に防災給食を実施します

11年前の3月11日、東日本大震災が起こり、多くの人の尊い命が奪われました。また、2018年7月には愛媛県でも西日本豪雨災害が起こり大きな被害を受けました。災害はいつ、どこで起こるか分かりません。最近、家庭での食料品や生活必需品の備蓄については、日常使用しているものを日ごろから少し多めに蓄え、使用したら買い足すことで災害時に役立てようとする「ローリングストック方法」の考え方が提唱されています。

災害時に備えて～ローリングストック法のすすめ～



給食センターでも、学校給食用非常食「救給カレー」を備蓄しています。万が一、災害が起こった場合には、ライフラインが復旧するまでの学校給食として提供します。また、災害がなく使用することがなかった「救給カレー」は、防災給食として学校給食で提供し、災害に備えることの大切さを知り、食べ物に対する感謝の気持ちを育む食育の教材として活用します。毎年、3月に防災給食を実施しています。



- ★ アレルギー特定原材料等27品目は使用していません。
- ★ 温めずにそのまま食べられます。
- ★ スプーンも付いていて容器はそのまま食器として活用でき、片付ける際も缶詰のようにかさばりません。
- ★ 内容量は小学校150g、中学校250gです。